

整形外科

1) 診療科紹介

京都大学の関連病院であるとともに、日本整形外科学会研修指定病院である。京都市内の救急の中核病院であるため、24 時間体制で急患の受け入れとその対応に努力している。疾患別では外傷が多いが、脊椎手術（頸椎、腰椎など）や関節手術（人工膝関節、人工股関節など）を中心に慢性疾患も多い。保存的治療とともに、手術療法を中心に積極的に取り組んでいる。

整形外科の治療分野では、

外傷、関節疾患、脊椎疾患、手の外科、腫瘍疾患、小児疾患が大きな分野である。

外傷に関しては、康生会武田病院が、京都市の中核救急病院であることから多くの骨折患者が搬入される。手術治療を要する症例も多い。

関節疾患は、変形性膝関節症や変形性股関節症が主である。手術室にはクリーンルームがあり人工関節全置換術を行っている。膝、股関節以外には、肩関節や肘関節の人工関節手術も行っている。足関節については、足関節固定手術を選択している。

脊椎疾患は、頸椎や腰椎が多い。頸椎椎間板ヘルニア、頸部脊柱管狭窄症、OPLL などが手術症例となる。腰椎では、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアが多い。最近では、胸椎および腰椎の圧迫骨折に対しても積極的に手術治療を考慮し早期の社会復帰を図っている。

腫瘍に関しては、悪性を疑わせるものについては、京都大学附属病院整形外科・腫瘍外来へ紹介することが多い。

小児疾患では、併設の学校がないことおよび小児科の常勤医師がいないことから京都大学整形外科関連の小児整形外科専門病院へ紹介している。

当科の平成 21 年の手術件数は 418 件であり、その主なものは頸椎椎弓形成術、脊椎管拡大術、椎間板ヘルニア摘出術、前方固定術などの脊椎手術 30 数例、股関節、膝関節の人工関節全置換術 30 例、人工骨頭置換術 30 例、骨接合術 150 数例である。

骨折では、

京都市の高齢者人口増加のため大腿骨頸部の骨折が多く、人工骨頭置換術とともに骨接合術も行っている。転子部骨折は、主にガンマーネイルタイプの髓内釘を使用した骨接合術を行っているが、ケースにより CHS またはエンダー釘固定も行っている。

手指の外傷も多く、手の外科手術の対象となる。

肩関節疾患に対しては積極的に鏡視下手術を行っており、平成 20 年は約 60 例行っている。

冷凍保存骨のボーンバンク (bone bank) も病院グループ内で運営管理しており、骨欠損の大きな症例にも十分対応できる。

手術日は、火曜日、木曜日、金曜日 である。

平成 21 年 4 月 1 日より主任部長が真多俊博 (昭和 60 年京都大学卒業、東山武田病院部長より転任) に人事異動し若返りが図られている。

リハビリテーションに関しては、PT および OT さらに ST も常駐しており質の高い治療が可能である。

日本リハビリテーション医学会研修指定病院の申請準備中である。

2) 関連学会

日本整形外科学会	日本リウマチ学会
http://www.joa.or.jp	日本手の外科学会
中部日本整形外科災害外科学会	日本リウマチ関節外科学会
日本脊椎脊髄病学会	日本小児整形外科学会
日本整形外科スポーツ医学会	日本救急医学会その他
日本骨折治療学会	
日本リハビリテーション医学会	
日本肩関節学会	
日本運動器リハビリテーション学会	
人工関節学会 など	

3) 施設認定・指導医・専門医

施設認定：1991 年 3 月 15 日～

真多俊博 部長 (昭和 60 年 京都大学卒業)
整形外科専門医 (日本整形外科学会認定リウマチ医、
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医)
日本リウマチ学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医および指導責任者
(日本手の外科学会会員 人工関節学会会員 日本肘関節学会会員)

那須 文章 医長 (平成 10 年 京都大学卒業)

整形外科専門医（日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医）

小田 竜治 （平成12年 京都大学卒業）
整形外科専門医

4) 関連学会(整形外科)の専門医受験資格

- 1.申請時に4年以上日本整形外科学会正会員である事。
- 2.臨床研修期間を含め6年以上の研修期間があり、その内臨床研修期間を除く3年間の日本整形外科認定の研修施設による専門医の指導を受ける事。
- 3.研修期間中に主発表者として1編以上の論文を学術雑誌に発表し、主発表者として1回以上学術集会で発表する事。

5) 関連学会（整形外科）が定めた研修カリキュラム

<http://www.joa.or.jp>（日本整形外科学会ホームページアドレス）

6) 後期研修の目標

目標 1 運動器の基礎知識、関節領域の基礎知識、整形外科的検査法、整形外科的診断学、整形外科的治療学総論、手術的治療、整形外科的外傷学、整形外科的疾患の診断と治療、整形外科リハビリテーション、整形外科における産業医としての役割 以上を学ぶ事

目標 2 種々の整形外科的外傷・疾患を経験し、主治医として検査・手術をする事

7) 目標達成のための戦略の特徴

- 1.日本整形外科学会認定の研修施設である
- 2.日本整形外科学会の整形外科専門医の指導が受けられる
- 3.病院の立地条件が良く（JR 京都駅より歩いて3分）、外傷、慢性疾患など、ほぼすべての整形外科疾患を経験できる
- 4.京都大学整形外科の研修スケジュールにより、研修可能である

8) 年度ごとの研修

- 1年次：病棟中心に外傷、種々の疾患を主治医として経験し、手術にも立ち会う
- 2年次：外来担当医として外来診療を行い、病棟患者も受け持ち、簡単な手術は執刀する
- 3年次：外来治療は引き続き行い、病棟では主治医として治療方針を決め、多くの手術を執刀医として経験する
- 4年次：3年次に同じ

9) 大学医局との関連

京都大学整形外科教室

10) 将来の進路

1. 当院のスタッフとして残る
2. 京都大学関連病院に赴任する
3. 京都大学病院で研究、研鑽する

11) 研修問い合わせ先

医療法人財団康生会 武田病院 臨床研修委員会
電子メール・アドレス： info@takedahp.or.jp